

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科		
科目名称	栄養情報活用基礎					授業形態	演習		
科目コード	309900	単位数	1単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブラーニング	○
担当教員名	生地 暢、木村 志緒、出口 佳奈絵							ICT活用	○
授業概要	<p>本科目の目的は大きく3つある。 目的ごとに各教員がオムニバスで担当する。授業資料はUNIPAにて配布する。 1) 木村担当(5回分): 余白を変更したり、ページ番号を付けたりといった基本的なページ設定や、PC操作を効率的に行うためのショートカットキー活用のスキル等について、国試過去問を題材として習得することにより1年次から国試を意識した勉強法に結び付けたり、他者へのPCサポートを行うことによりコミュニケーション能力を高めることにつなげていく。 2) 生地担当(3回分): 情報倫理や情報セキュリティの基礎を理解し、情報検索の意義および方法を学び、その利用マナーやルールを理解する。その後、テーマを設定し、得た情報を活用して、レポート作成を行う。 3) 出口担当(3回分): 適切な栄養情報の提案や成果報告するための手段であるプレゼンテーションのスキル習得と向上を目的とする。何をどのように表現すると受け手に「伝わりやすいか」を常に考えながら、相互理解と思いやりのあるコミュニケーション力の充実を目指す。</p>								
関連する科目	食事計画論実習Ⅰ・食品衛生学実験・応用栄養学実習								
授業の進め方と方法	<p>1) 木村担当分: 国家試験過去問を題材としてPC操作を行う。 2) 生地担当分: 情報検索・モラル等について学び、テーマに基づいたレポート作成を行う。 3) 出口担当分: 基本的操作を確認し、テーマに基づいて作成したパワーポイントでプレゼンテーションを行う。</p>								
授業計画【第1回】	国試におけるPC活用その1(木村) Web上の過去問を収集し、解答や正文化を行う。								
授業計画【第2回】	国試におけるPC活用その2(木村) 1回目のデータを活用して「1問1答」の形式に変換する。 (ワード、エクセル間でのデータ移動などを学ぶ)								
授業計画【第3回】	国試におけるPC活用その3(木村) 2回目のデータを活用して、知識を定着させるための「まとめ資料」の形式に変換する。								
授業計画【第4回】	国試におけるPC活用その4(木村) 1~3回目で学習したPCスキルを用いて、各自が選択したテーマで取り組む。								
授業計画【第5回】	国試におけるPC活用その5(木村) 4回目の進捗状況に合わせて取り組みを継続する。								
授業計画【第6回】	情報検索の基礎(生地) 情報(文献)検索の意義およびその方法と活用について学び、検索・利用マナーやルールも同時に学ぶ。								
授業計画【第7回】	情報を利活用したレポート作成(生地) テーマに基づいた情報(文献)検索を行い、それを利用したレポート作成方法について学ぶ。								
授業計画【第8回】	情報を利活用したレポート作成(生地) テーマに基づいた情報(文献)検索を行い、それを利用したレポート作成方法について学ぶ。								
授業計画【第9回】	プレゼン資料の構成(出口) (基礎編) パワーポイントを用いたプレゼン資料の作り方を学ぶ。								
授業計画【第10回】	プレゼン資料の作成(出口) (応用編) パワーポイントを用いたプレゼン資料の図表やレイアウトの工夫を学ぶ。								

授業計画 【第11回】	パワーポイントを活用した成果発表(出口) 〈活用編〉パワーポイントによる成果発表を通して意見交換を行い、客観的視点を学ぶ。
授業の到達目標	1) 基本的なPCスキル等を習得する。【知識・理解の獲得】 2) 他者へのPC操作のサポートを通して、コミュニケーション能力を高める。【コミュニケーション・スキルの獲得】 3) 情報検索方法およびルールを理解し、基本的な情報利活用が出来る。【知識・理解の獲得】 【情報リテラシーの獲得】 4) 適切な資料作成と成果発表の重要性を自覚し、プレゼンテーションスキルの向上に努める。【問題発見力の育成】 【情報リテラシーの獲得】 【コミュニケーション・スキルの獲得】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外学習【予習】	1) web上で国試過去問において現時点の知識でも解けそうな問題を見ておくこと。(30分) 2) 日常生活のなかで、「栄養・食」というキーワードの情報に関心をもっておくこと。(30分) 3) 日常生活のなかで、どのような「伝え方」があるのかに興味・関心をもっておくこと。(30分)
授業時間外学習【復習】	1) 授業内で学習したPCスキルを反復すること。(30分) 2) 情報倫理等に照らし合わせながら、さまざまな情報を得るようにしていくこと。(30分) 3) 受け手に「伝わりやすいか」を考え、柔軟に工夫すること。(30分)
課題に対する フィードバック	1) 当日の進捗状況を確認する。 2) 課題レポートのフィードバックを行う。 3) 成果発表に対する助言を行う。
評価方法・基準	1) 取組態度・周囲へのサポート状況や提出物で評価する。 2) 課題レポートで評価する。 3) 資料作成への取り組みと成果発表で評価する。
テキスト	必要に応じて資料を配布する。
参考書	必要に応じて資料を配布する。
備考	